

2025 年 10 月 23 日

福島県南相馬市の機能性吸着材製造工場「ANION南相馬工場」開業 ～ 素材面からインフラリニューアル市場への参入 ～

日本国土開発株式会社(東京都港区虎ノ門4-3-13 代表取締役社長:林 伊佐雄)の100%子会社であるANION株式会社(東京都港区虎ノ門4-3-13 代表取締役:大野 睦浩)は、福島県南相馬市において建設していた機能性吸着材製造工場について、本年10月23日に「ANION株式会社 南相馬工場開業披露式々典」を執り行いました。

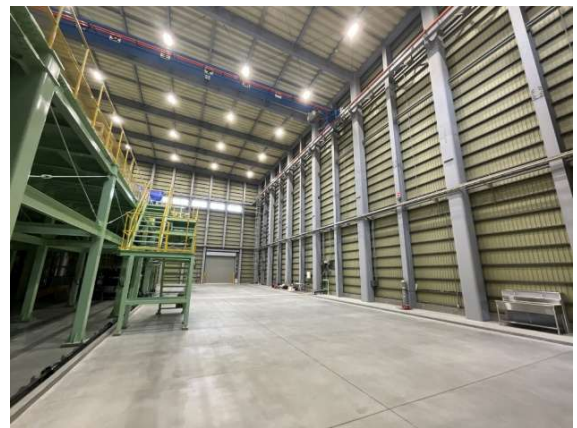
ANION南相馬工場の投資額は約10億円で、2025年11月から本格稼働を開始し、2029年5月期には年間45トンの機能性吸着材の生産を見込んでいます。

◆素材面からインフラリニューアル市場への参入

当社が保有する機能性吸着材は、鉄筋コンクリート構造物の劣化防止、長寿命化において高い性能を有しています。当社では鉄筋コンクリート構造物のリニューアルプロジェクトを推進しており、インフラリニューアル市場での活用に向けてANION南相馬工場を建設しました。

現在、インフラリニューアル用途では、この機能性吸着材をエポキシ樹脂に混合して錆防止、ひび割れの補修材などの塩害劣化対策で用途展開をしていますが、今後は塗料や止水材などの化学的浸食対策での展開も検討しており、その他の用途開拓も進めています。

この事業は経済産業省の「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金(第八次公募)」に採択されており、雇用の創出などによる地域活性化を目指し、南相馬市在住者5名、浪江町在住者1名の雇用を行います。



◆ANION株式会社の概要

所在地：東京都港区虎ノ門四丁目3番13号
ヒューリック神谷町ビル5階
代表者：代表取締役 大野睦浩
資本金：100,000,000円（日本国土開発(株)100%子会社）
事業内容：塩害対策を主目的とした各種材料に適用する
硝酸型機能性吸着材の製造・販売事業
U R L：<https://anion.co.jp/>

◆ANION南相馬工場の概要

所在地：福島県南相馬市小高区飯崎字北原51番地1
常時雇用者：6名
(地元雇用者：南相馬市5名、浪江町1名)
建 物：鉄骨造 地上1階
敷地面積：総面積 13,729.13㎡、工場 1,141.14㎡
設計施工：(株)中里工務店（所在地：福島県南相馬市）
生産能力：昼夜稼働で最大約100トン/年

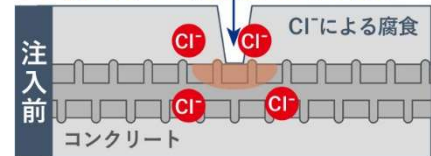
◆機能性吸着材「ADOXパウダー」について

ANION南相馬工場で生産する素材は、機能性吸着材「ADOXパウダー」です。ADOXパウダーは、層状複水酸化物(LDH)をナノサイズ化して性能を高めた無機系陰イオン吸着材で、有害な陰イオンを吸着する性能を有しています。

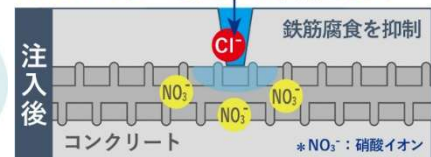
このADOXパウダーをエポキシ樹脂やポリマーセメントモルタルなどに添加して補修材として用いることで、塩害による鉄筋の腐食を抑制し、鉄筋コンクリート構造物の長寿命化に貢献することができます。



ひび割れから Cl^- (塩化物イオン) が侵入



ADOXパウダーを添加した樹脂を注入



鉄筋が腐食環境から防錆環境へ移行

◆当社と南相馬市の関わり

東日本大震災によって発生した福島第一原発事故で放出された放射性物質の除染事業において、当社は2011年11月から福島県南相馬市において国直轄における南相馬市の除染作業から中間貯蔵までの全工程を担当しました。

2016年には同市内に連結子会社である福島エコクリート株式会社を設立し、南相馬市をはじめとする福島・浜通りの雇用創出に向けた取り組みも行っています。同社は政府の「福島イノベーション・コースト構想」における環境・リサイクル分野の代表的企業に位置づけられており、震災復興事業への土木資材の供給、福島県内の石炭灰のリサイクルを展開しています。



小高西部グラウンドに設けられた
除染土壌などの集積保管所 (2012年撮影)

ANION南相馬工場を建設した土地である小高西部グラウンドや隣接する旧金房小学校は、当社が2011年に初めて除染作業を行った場所です。その跡地に、新たにインフラリニューアルに資する機能性吸着材工場を開業することができ、さらなる南相馬市の被災地復興支援に貢献できるものと、当社では考えています。

◆開業披露式の模様

南相馬市の門馬和夫市長をはじめ、多くの関係者の方々が出席しました。



左から南相馬市の門馬和夫市長、ANION代表取締役の大野睦浩、日本国土開発代表取締役社長の林伊佐雄

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 サステナビリティ経営本部戦略部 電話: 050-1735-9468